

## 評価基準表

評価項目		評点	係数	配点
<b>1 全体の評価</b>				<b>20点</b>
提案内容の的確性	仕様書の内容を十分に理解したうえで、目標数値が定められている項目については目標数値達成を意識した提案がされている。	5	1	5点
効果的な事業執行が期待できる人員の配置	統括責任者について、効果的なマネジメントや事業全体の安定した運営を図ることが期待できる資格や実績のある人員の配置が示されている。	5	1	10点
	上記以外の役割の者について、企業の社長や現場担当者等、また、障害福祉事業所の支援員等と円滑なコミュニケーションを取り、効果的かつ効率的な障害者雇用の推進及び就労援助の実施が期待できる資格や実績がある人員の配置が示されている。	5	1	
安定的な事業運営が期待できるバックアップ体制等	人数・組織のバックアップ体制から判断し、安定した事業運営を図ることが期待できる。	5	1	5点
<b>2 事業の提案内容</b>				<b>60点</b>
雇用相談、障害者等雇用コンサルティング	本市では経済労働局と連携して企業に障害者雇用等の支援メニューを紹介する障害者等雇用・就労支援出張キャラバン隊を実施しているほか、ハローワークとの共催による障害者合同面接会に出展している企業にアプローチを図っているが、このような取組以外で企業に対する効率的かつ効果的なアプローチ方法を提案できている。	5	1	20点
	経営層や現場社員から障害者雇用について理解が得られず、障害者雇用が進まない企業に対して、効果的な支援の実施が期待できる提案内容であり、就労者30人以上という目標値の達成が期待できる。	5	1	
	障害者雇用に関する知識が無い、または知識が少ない企業に対して、雇用まで効果的かつ丁寧な支援の実施を期待できる提案内容である。	5	1	
	雇用後、企業に対する定着支援として雇用後の課題等のヒアリング及び課題等の解消が期待できる提案内容である。	5	1	
障害者雇用促進ネットワーク会議	以下の2点を把握したうえで川崎市内の中小企業等の経営層、人事担当者、現場社員が参加したくなるようなテーマ（全3回）で当会議の企画・運営が期待できる提案内容である。 ・国や他自治体の動向を踏まえた障害者雇用に関する最新の情報 ・川崎市内中小企業の障害者雇用に関する需要	5	2	10点
短時間雇用プロジェクト	（短時間雇用プロジェクトの定義） 現状として、障害者求人の大部分が法定雇用率の対象となる週当たり20時間以上の労働を求める内容となっている。こうした中、本市では2016年度から、法定雇用率とは関係なく人手不足で困っている企業と、主に週当たり10時間未満での就労を希望する障害者等のマッチングを行う「短時間雇用プロジェクト」を推進してきた。			
	法定雇用率の達成を目的とするのではなく、人手不足等で困っている企業を対象にしているということを意識した企業開拓方法となっており、求人開拓が原則60件、就職者数が60人以上という目標値の達成が期待できる。	5	1	20点
	以下の2点を押さえたうえで企業に対してアプローチをすることができる。 ・労働力としての具体的な提案、CSRとしての具体的な提案以外に、企業にとつてのメリットが明示されている。 ・雇用側・就労側の満足度を高めるために、より本業に近い作業に着目している。	5	1	
	以下の2点を押さえたうえで企業に対して丁寧な支援をすることができる。 ・求職者の障害特性を企業とつづさに共有し、配慮事項を伝えること ・見学、実習、面接を原則として実施し、ミスマッチを防止すること	5	1	
	雇用後、企業に対する定着支援として、雇用後の課題等のヒアリング及び課題等の解消が期待できる提案内容である。	5	1	
就労体験	就労体験を実施する意義やメリットを理解し、イベント主催者・企業に対して説明をし、賛同を得ることができる提案内容である。	5	1	10点
	雇用相談や短時間雇用プロジェクト同様、イベント主催者・企業に対して効果的かつ効率的なアプローチが期待できる提案内容であり、延べ300人以上に対し、年間55回以上の開催という目標値の達成が期待できる。	5	1	
<b>3 その他</b>				<b>20点</b>
事業実績	過去に類似・関連事業の実績がある。	5	1	10点
	過去の事業実績は本事業に活かせる内容である。	5	1	
費用の積算	費用の積算は合理的な内容になっている。	5	1	5点
危機管理	個人情報等の重要な情報について徹底した管理ができ、問題が生じた際には速やかに委託先業者から障害者社会参加・就労支援課に報告をする体制が整っている。	5	1	5点
<b>総合評価</b>				<b>100点</b>